

「ビキニの海のねがい」

読者ニュース No.2



2024.10.10 「ビキニの海のねがい」を本にする会

高知の先生や子どもたちも手紙を書いていた

第5 福竜丸の無線士、久保山愛吉さんが亡くなったのは1954年9月23日でした。久保山さんや妻のすずさん、子どもたちにあてたお見舞いの手紙がたくさん出されていたといひます。高知県からもたくさんの手紙が送られています。小学校の先生が出された手紙を紹介しします。

『久保山みや子さん、やす子さんへ』

高知市あさひ小学校 担任 ○○

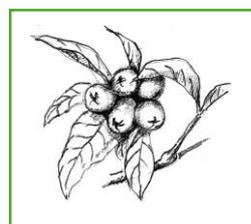
あなたたちのお父様が、水素爆弾の灰のために亡くなられた事を知って、私たちは大へんかなしく思いました。そして、あなたたちおうちの人がさぞ悲しいことだろうとお気の毒でたまりません。

私のつとめている高知市のあさひ小学校の三年生はあなたたちのお話を新聞やラジオで聞いて、大へん心配しました。そして、一時よくなられたときは皆でよろこびました。しかし、とうとう亡くなられました。その時の新聞を読んでやると涙を流して悲しみました。みんなは、まだどうして水素爆弾などの恐ろしいことをやられたのかわかりません。けれども何とかして、そんな恐ろしいことを止めてもらおうと話し合いました。そして、久保山さんにお手紙を出して、お慰めをしよう、お友達になろうと決めて、さっそくそれぞれ手紙を書きました。読みにくい字もありますが、気持ちを受け取ってやってください。

放射能の灰は、高知にもたくさん落ちてきました。焼津と同じように漁業をしている室戸というところも高知県にあって、お魚がたくさん傷んで漁師さんもお魚屋さんも町の人々も大変困りました。今でもマグロやカツオが放射能にやられていますので、高知の人々は水素爆弾を大へん怒っています。そして、このごろのようにくらしが苦しいのも、にくいアメリカがいばっているからだと話しております。

高知でもたくさんの人々が集まって、水素爆弾反対の大会をしました。そして署名も何万という程集まっています。

あなたたちのお父様を奪った恐ろしい水爆をやめてもらう事は、日本中の人々のねがいです。あなたたちのお父様も亡くなられるまで、自分の苦しいことを我慢して水爆反対を言っておられたそうですね。私たちは、高知の子どもも大人も一緒になって久保山さんをおなぐさめをするために水爆を止めてもらいたいと思っています。どうかお元気を出して、おばあさま、お母さまにお仕えしてりっぱな大人になってください。さみしい時は高知のような遠いところにもお友達がいることを思い出してください。では、さようなら。



『ビキニの海のねがい』 南の風社 2500円 好評発売中 ご注文は下記へ

株南の風社 Email edit@minaminokaze.co.jp <https://www.minaminokaze.co.jp>

日本母親大会(和歌山)で 30 冊が瞬く間に売れました

9月28日12時過ぎに、日本母親大会全体会の会場である和歌山県民文化会館に到着。30冊の本を3つの袋に分けて運びました。会館はすでに、全国から集まった方たちでごった返していましたが、お弁当のお世話をしている森田さん発見！森田さんが販売用の机を探してくれている間に、退婦教の北代さん、山中さん、杉村で本が入っていた段ボールを机にして販売開始。日本婦人団体連合会(婦団連)の方たちの横で、幅30cmくらいの小さなお店開店。時々、婦団連の上り旗で本が隠れる。それでも、手に取ってじっくりと見てくださった方が次々と買い求めてくれました。



高知から一緒に参加していた方が(この方たちは売りになれているからプロ級)2~3人手伝ってくれたおかげで、なんと全体会が始まるまでに26冊売れました。安田和也さん(第五福竜丸展示館)の講演の後、残りの4冊を販売するため売り場へ直行。やはり、講演後、本を購入したい人がたくさん来ていたので、あっという間に4冊完売。そこからは注文用紙を配布。その場で書いてくれた人は3人でした。「もうないです

か。」とがっかりされる方もいました。

全体会の講師、安田さんが、実際に水爆実験で被災した人の話をされるときに涙をこらえて話す姿が心に残りました。私が参加した分科会では24歳の高橋悠太さん(一般社団法人かたわら)がパネラーとしてお話してくれました。核保有国において、核兵器使用決定となったら、30分以内に使用できる核兵器が世界には9583発あるとのこと。彼は具体的にイメージしてもらうためにBB弾を缶に入れる実験をするのだそうです。広島に1つ(カンという音)、長崎に1つ(カンという音)、そして9583発の数のBB弾を缶に入れる。そうするとザーという音とともに40秒から1分くらい時間がかかるので、見ていた人はし~んとなるのだそうです。周りの人たちに対して、こちらの思いや意見を押し付けると相手はひいてしまう。事実を伝え、「あなたはどう思いますか？」相手にまず考えてもらうことこそが周りの人たち、特に今の若い人たちへの伝え方ではないかと話してくれました。

絵本を通して、今から70年前に起こったビキニ事件の事実を幅広い人たちに伝えて、考えてもらうきっかけになることを望みます。

(2024.10.09 杉村直美)

〈県外の友達に紹介すると15冊〉

安芸の退婦教の方が、県外の友達にも紹介したいと8冊を購入してくれました。そのことが話題を呼びさらに5冊追加購入してくれました。お手紙もいただきました。

やじ秋めいてきて息がつけます
先日はビキニ絵本、届けていただきありがとうございます。
レターパックで4人に送りました。残りは今明日中に。
母親大会の講演、とてもよかったです。被曝者の救は
ふえています。安田和也学芸委員、よく調べていました。
アメリカは兵士も地城の人達、工場労働者、モルモットあつかい
です。被曝者の苦しみと語る時、涙をこらえる時があり
ました。核兵器の使用は許せない。長年にわたって降下放射
物(ヤシウム、ストロンチウム)の計測を続けている学者がいる
のは心強いです。しっかり報告してほしい。船員のキキコウ調査
は大きいですね。裁判闘争はこれからです。支援したい
昨日は学びの多い一日でした。若者に、きかせたいですね。
9/29